

経営行動研究学会第 29 回全国大会開催へのご案内

—「経営人材の育成とコーポレートガバナンス」に寄せて—

大会委員長 鈴木岩行（和光大学）

2019 年の全国大会は 8 月 9 日、10 日に和光大学にて開催されます。和光大学は昭和 41 年（1966 年）に「自由な研究の共同体」を目指した実験大学として創立されました。

昭和から平成に移り、本年平成の時代が終わり、令和の時代が始まりました。平成の 30 年間は昭和と異なり、国内では一度も戦争のない時代でした。しかし、経済の面からは敗戦の時代と総括する人もいます。日本の製造業を代表する自動車や電機メーカーで不振が際立っています。日産は、1999 年出資を受けたフランス・ルノーから派遣されたゴーン氏により V 字回復を遂げました。また、液晶パネル生産で時代を画したシャープも経営不振に陥り、2016 年台湾の EMS メーカー鴻海（ホンハイ）の傘下に入り、やはり短期間で再建されました。外国人経営者の下で短期間で再建されるということは、経営力の違いと言わざるを得ないのではないのでしょうか。そういう経営力を持った経営人材を育てられなかった日本企業での経営人材の育成が問われていると思われれます。一方、電機メーカーの雄であった東芝は、コーポレート・ガバナンスが機能すると考えられる委員会設置会社（現在の指名委員会等設置会社）に逸早く移行しましたが、それが全く機能しなかったため経営危機に陥ったと言われています。日産は外資の下で経営は再建されましたが、独裁的な経営に陥りコーポレート・ガバナンスが機能していなかったと考えられます。令和の時代の日本企業はグローバル競争に打ち勝てる経営人材を育成するとともに、コーポレート・ガバナンスも機能する経営行動のあり方を探る必要があるのではないのでしょうか。

そこで、第 29 回全国大会の統一論題では、「経営人材の育成とコーポレートガバナンス」とし、二つの課題を同時に論じていただくことを企画しました。第 1 日目は、「デュボンと日立に学ぶ経営人材の育成」、「移り行く企業内教育と経営人材の育成」、「不祥事企業における監査役の実効性」のご報告があり、2 日目は「『誰・何のための企業か』と人材育成」と「経営者の誠実さとガバナンスの強化」のご報告が予定されています。これらのご報告は、佐藤剛氏（全米取締役協会会員）、谷内篤博氏（実践女子大学）、柏木理佳氏（城西国際大学）、三戸浩氏（長崎県立大学）、田中一弘氏（一橋大学）にお願いしました。2 日目の午後に統一論題シンポジウムを開催し、ご報告の先生方による包括的検討と会員の皆様との意見交換が予定されています。また、18 本の自由論題があり、いずれも極めて興味深いテーマと視点から研究成果をご報告されるものと期待しております。

経営行動研究学会第29回全国大会プログラム

統一論題

経営人材の育成とコーポレート・ガバナンス

日時：2019年8月9日（金）・10日（土）

主催：経営行動研究学会

開催校：和光大学

大会委員長 鈴木 岩行

[大会日程概要]

第1日：8月9日（金） 受付：9:30～ （H棟2階）

	A会場（H205教室）	B会場（H301教室）	C会場（H303教室）
10:00～10:45	自由論題（A-1）	自由論題（B-1）	自由論題（C-1）
10:50～11:35	自由論題（A-2）	自由論題（B-2）	自由論題（C-2）
11:35～12:30	昼食（常任理事会（H403））		
12:30～13:15	自由論題（A-3）	自由論題（B-3）	自由論題（C-3）
13:20～14:05	自由論題（A-4）	自由論題（B-4）	自由論題（C-4）
統一論題（J棟401教室）			
14:15～14:50	統一論題（Ⅰ）（報告30分・質疑5分）		
14:55～15:30	統一論題（Ⅱ）		
15:35～16:10	統一論題（Ⅲ）		
16:20～17:00	記念講演 菊池敏夫（日本大学名誉教授・本学会名誉会長）		
17:05～17:45	会員総会（J棟401教室）		
18:00～20:00	懇親会（E棟コンベンションホール）		

第2日：8月10日（土） 受付9:30～（H棟2階）

	A会場（H205教室）	B会場（H301教室）	C会場（H303教室）
10:10～10:55	自由論題（A-5）	自由論題（B-5）	自由論題（C-5）
11:00～11:45	自由論題（A-6）	自由論題（B-6）	自由論題（C-6）
統一論題（J棟401教室）			
11:55～12:30	統一論題（Ⅳ）（報告30分・質疑5分）		
12:30～13:20	昼食（理事会（H403））		
13:20～13:55	統一論題（Ⅴ）		
14:00～16:00	シンポジウム（J棟401教室）		
16:00～16:10	閉会式		

◆ 8月9日(金) 9:30 受付開始 (H棟2階)

自由論題報告 (報告 30分 コメント・質疑 15分)

<自由論題(1) 10:00~10:45>

	A会場 (H205 教室)	B会場 (H301 教室)	C会場 (H303 教室)
テ ー マ	医薬企業における研究開発戦略の一考察 ~開発活動との統合の視点から~	エンパワリングリーダーシップが創造性発揮・能力発揮に及ぼす影響~非正規雇用従業員を対象にした実証研究~	和光大学における産学連携実践論の実践と課題~2013-17年の事例を基にして~
報 告 者	郭 倩 (桜美林大学)	北野康 (大東文化大学)	平井宏典 (和光大学)
コメンテータ	土屋勉男 (元三菱総合研究所)	當間政義 (和光大学)	櫻井敬三 (日本経済大学)
司 会 者	篠崎香織 (実践女子大学)	関岡保二 (中央学院大学)	村上睦 (大阪学院大学)

<自由論題(2) 10:50~11:35>

テ ー マ	経営者の再生型リーダーシップ開発~中小企業再生時の PDCA と経営理念創成プロセスとの関係から~	ネパールの財閥企業におけるコーポレートガバナンスの現状	改革開放前の中国企業における組織と個人の関係
報 告 者	佐竹恒彦 (敬愛大学)	グラガイ ラクシュミ ナラヤン (創価大学大学院)	張英莉 (埼玉学園大学)
コメンテータ	小野瀬拓 (駒澤大学)	金在淑 (日本経済大学)	董光哲 (桜美林大学)
司 会 者	大熊省三 (関西学院大学)	村田大学 (大原大学院大学)	市古勲 (東海学園大学)

昼 食 11:35~12:30

<自由論題(3) 12:30~13:15>

テ ー マ	現代企業の不祥事と経営倫理	ネパールにおける貧困問題と企業の社会的責任	産後ケアセンターの利用率向上を目的とした「ナッジ」に関するランダム化社会実験
報 告 者	井上善博 (神戸学院大学)	シャム カルキ (創価大学大学院)	倉澤一孝 (山梨学院大学)
コメンテータ	松本芳男 (中央学院大学)	丹野勲 (神奈川大学)	上野哲郎 (和光大学)
司 会 者	辻村宏和 (中部大学)	竹野忠弘 (名古屋工業大学)	杉田あけみ (千葉経済大学)

<自由論題(4) 13:20~14:05>

テ ー マ	企業不祥事・事故遺産を保持する意識と期待される役割、課題について	日本企業の内部留保の活用について	就職、就業ボーダーライン学生の支援について
報 告 者	杉原成幸 (法政大学大学院)	山田仁志 (日本大学)	竹川宏子 (兵庫大学)
コメンテータ	粟屋仁美 (敬愛大学)	小椋康宏 (東洋大学)	石毛昭範 (拓殖大学)
司 会 者	咲川孝 (中央大学)	林雅之 (金沢星稜大学)	加藤里美 (愛知工業大学)

統一論題報告：統一テーマ 「経営人材の育成とコーポレート・ガバナンス」

(J棟 401 教室) (報告 30 分・質疑 5 分)

<統一論題Ⅰ 14:15~14:50>

テーマ： デュポンと日立に学ぶ経営人材の育成

報告者： 佐藤剛 (全米取締役協会会員)

司会者： 平田光弘 (一橋大学)

<統一論題Ⅱ 14:55~15:30>

テーマ： 移りゆく企業内教育と経営人材の育成

報告者： 谷内篤博 (実践女子大学)

司会者： 佐々木利廣 (京都産業大学)

<統一論題Ⅲ 15:35~16:10>

テーマ： 不祥事企業における監査役の監査の実効性

報告者： 柏木理佳 (城西国際大学)

司会者： 浅井紀子 (中京大学)

<記念講演 16:20~17:00>

演 題： 経営行動研究の視点、視野、課題と展望

講演者： 菊池敏夫 (日本大学名誉教授・本学会名誉会長)

司会者： 太田三郎 (千葉商科大学)

会員総会 17:05~17:45 (J棟 401 教室)

懇親会 18:00~20:00 (E棟コンベンションホール)

◆ 8月10日(土) 9:30 受付 (H棟2階)

<自由論題(5) 10:10~10:55> (報告 30 分 コメント・質疑 15 分)

	A会場 (H205 教室)	B会場 (H301 教室)	C会場 (H303 教室)
テ ー マ	小売業の海外展開に対する分析手法について	コーポレート・ガバナンスの現代的課題~労働者の意思決定への参加~	企業倒産事例に関する一考察~アラスカパルプ株式会社とエンロン事件からの示唆
報 告 者	高垣行男 (駿河台大学)	新川本 (長崎県立大学)	小堀朋子 (千葉商科大学)
コメンテータ	前野高章 (日本大学)	津田秀和 (愛知学院大学)	笹本憲一 (笹本憲一事務所)
司 会 者	日野隆生 (東京富士大学)	大平義隆 (北海学園大学)	青淵正幸 (立教大学)

<自由論題（6） 11:00~11:45>

テ ー マ	贅沢品消費の視点による 経済学諸説の再検討 ～ラグジュアリーブラン ド研究として～	ドラッカー理論の限界と 可能性 ～『産業人の未 来』、経営者権力の正統性 とガバナンス～	非対称コミュニケーション ・ネットワークにおける 情報伝達確率の分析
報 告 者 コ メ ン テ ー タ 司 会 者	大熊美音子（武蔵大学） 兼子良久（山形大学） 城田吉孝（東京福祉大学）	磯秀雄（日本公認会計士協会） 勝部伸夫（専修大学） 西村香織（九州産業大学）	鄭年皓（福知山公立大学） 金子勝一（山梨学院大学） 城川俊一（東洋大学）

統一論題報告（ J棟 401 教室 ）（報告 30 分・質疑 5 分）

<統一論題Ⅳ 11:55~12:30>

テーマ： 「誰・何のための企業か」と人材育成

報告者： 三戸浩（長崎県立大学）

司会者： 菊澤研宗（慶應義塾大学）

昼 食 休 憩 （12：30~13：20）

<統一論題Ⅴ 13:20~13:55>

テーマ： 経営者の誠実さとガバナンスの強化

報告者： 田中一弘（一橋大学）

司会者： 佐久間信夫（創価大学）

シンポジウム 14:00~16:00

統一論題シンポジウム

パネリスト： 佐藤剛（全米取締役協会会員）

谷内篤博（実践女子大学）

柏木理佳（城西国際大学）

三戸浩（長崎県立大学）

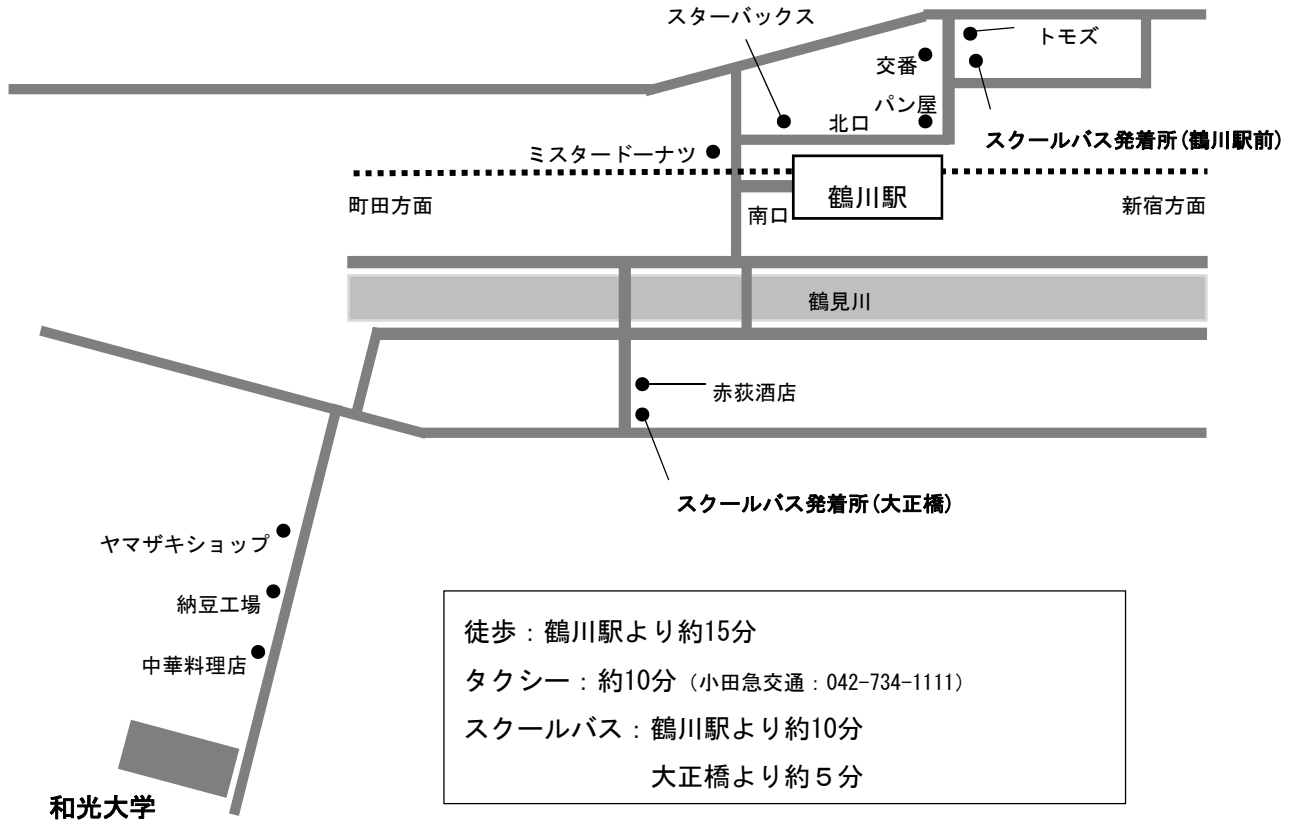
田中一弘（一橋大学）

司会者： 亀川雅人（立教大学）

池内秀己（九州産業大学）

閉会式 16：00~16：10

最寄駅(小田急線鶴川駅)から和光大学へのアクセス



スクールバス時刻表

※ご乗車の際に、学会参加者である旨を運転手にお声掛けください。

鶴川駅発		大正橋発		大学発(鶴川駅行・大正橋行)	
時	分	時	分	時	分
8	30	8	45 55	8	15(鶴) 40(大) 50(大)
9	40(金曜日のみ)	9		9	50(鶴)
10	00 20 55	10	20 30	10	10(鶴) 15(大) 25(大) 45(鶴)
11		11		11	50(鶴)
12	00 30	12	50	12	20(鶴) 45(大)
13	15	13		13	05(鶴)
14	20 55	14		14	10(鶴) 45(鶴)
15		15		15	55(鶴)
16	05 35	16		16	25(鶴)
17	20	17	05	17	00(大) 10(鶴)
18	20	18	05	18	00(大) 10(鶴)
19				19	30(鶴)

参 加 要 領

【申込方法】 同封の葉書に該当事項を記入の上、7月20日までにご返送ください。なお、会員総会に出席できない場合は、同封葉書の委任状にご署名ご捺印くださいますようお願い申し上げます。

(振込先：ゆうちょ銀行)

口座記号・番号 00150-3-451757
口座名称 経営行動研究学会第29回全国大会
加入者振込店 町田鶴川一

<他行からの振込みの場合>

店名(店番) 0一九(019)
預金種目 当座
口座番号 0451757

【参加費等】

	事前振込み	当日払い
大会参加費	5,000円	6,000円
懇親会参加費	5,000円	6,000円
お弁当代(1食あたり)	1,000円	当日受付はありません

- ※ お弁当は事前振込みをされた方のみのご用意となります。振替受領証またはコピーを持参ください。なお、大会当日は弊学の生協食堂が営業しておりますので、そちらもご利用いただけます。
- ※ 大学院生の大会参加費は3,000円、懇親会費も3,000円(事前振込み・当日払い共)いたします。当日払いの場合は、学生証の提示をお願いする場合がありますのでご承知おきください。

経営行動研究学会第29回全国大会実行委員会

〒195-8585 東京都町田市金井町2160 和光大学
大会実行委員会連絡先：e-mail：jaom29.wako@gmail.com